



2019年3月7日

各 位

会 社 名 リファインバース株式会社
住 所 東京都中央区日本橋人形町三丁目 10 番 1 号
代 表 者 名 代表取締役社長 越 智 晶
(コード番号：6531)
問い合わせ先 経営企画室長 青 木 卓
TEL. 03-5643-7890

第三者割当による新株式発行のお知らせ

当社は、2019年3月7日付の取締役会において、第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当」といいます。）を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2019年3月29日
(2) 発行新株式数	普通株式 45,000株
(3) 発行価額	1株につき1,371円
(4) 調達資金の額	61,695,000円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法による 越 智 晶 30,000株 越智源株式会社 15,000株
(6) その他	当社は、割当予定先との間で、総数引受契約を締結する予定であります。 また、当社は、本第三者割当について、有価証券通知書を提出しております。

2. 募集の目的及び理由

当社は、2016年に東京証券取引所マザーズに上場し、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、再生樹脂増産のための設備を本格稼働させ、また、製鋼副資材を量産品として出荷開始するなど、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、将来の新規事業に係る積極的な研究開発投資を行ってまいりました。

このような状況の中、当社は、2019年1月10日付リリースのとおり、カーペットタイル以外の自動車エアバッグや漁網などのナイロン製廃棄物のリサイクル量産化技術を確立できたことにより、

新規事業として事業化することといたしました。今後につきましては、それ以外のまた新たな廃材についても再資源化の検討を進めていくべく研究開発の継続・拡大を図っており、その実現のためには資金調達が重要な課題であります。

一方で、第三者割当増資を実施した場合には、株主の持株比率の希釈化が生じることから、第三者割当の規模や引受先の選定については、慎重に検討を行ってまいりました。

しかしながら、エクイティ・ファイナンスによる資金調達により、財務体質を改善、経営基盤を強化することで、研究開発及び事業の拡大の加速化を図り、企業価値を向上させることが、株主の利益に資すると判断し、当社の経営状況及び資金調達の規模に鑑み、早急かつ確実に資金調達を行うには、本第三者割当を行うのが相当であると判断いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

払込金額の総額 (円)	発行諸費用の概算額 (円)	差引手取概算額 (円)
61,695,000円	1,500,000円	60,195,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額は、登記費用、その他諸費用等の合計額であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な資金使途	金額 (円)	支出予定時期
研究開発	60,195,000円	2019年4月～2020年6月

本調達資金について具体的には、現在再資源化している商材以外の廃材について再資源化及び事業化の検討を行うに際し、研究開発人員に係る人件費や実証実験、検証作業費等に38,500千円、テスト機材の購入、分析調査費等に21,695千円充当する予定であります。なお、調達した資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当により調達する資金の使途については、上記3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期に記載のとおりであり、調達した資金を新たな廃材の再資源化の検討に係る研究開発費に充当し、当社の将来における新規事業の拡大を図り、中長期的な企業価値の向上、ひいては株主利益に資するものであり、かかる資金使途は合理的と判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込額の算定根拠及びその具体的内容

本第三者割当の発行価額につきましては、直近の当社普通株式の株価が当社の株主価値を適正に表していると考えられることから、本第三者割当に関する取締役会決議日（以下「本取締役会決議日」という。）の直前営業日（2019年3月6日）の株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）における当社普通株式の終値（以下「終値」といいます。）である1株あたり1,371円といたしました。これは、取締役会決議日直前の市場株価であり、直近の株価に依拠できないことを示す特段の事情のない状況においては、当社の企業価値を適切に反映した合理的なものであって、割当予定先にとって特に有利な金額には該当しないものと判断しております。上記払込金

額の決定方法は、日本証券業協会の定める「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠したものとっております。

なお、本第三者割当に係る払込金額は、本取締役会決議日の直前1か月間（2019年2月7日～2019年3月6日）の終値の平均値である1,354円（円未満四捨五入）に対しては1.26%のプレミアム、同直前3か月間（2018年12月7日～2019年3月6日）の終値の平均値である1,203円（円未満四捨五入）に対しては13.97%のプレミアム、同直前6か月間（2018年9月7日～2019年3月6日）の終値の平均値である1,267円（円未満四捨五入）に対しては8.21%のプレミアムとなります。

当該払込金額については、当社の全監査役3名（うち2名は社外監査役）より、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にし、日本証券業協会の定める「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠する範囲のもので、適正かつ妥当であり、割当予定先に特に有利な金額には該当しないとの意見を得ております。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により新規に発行する株式数は45,000株（議決権450個）であり、本第三者割当前の当社の発行済株式総数3,004,950株に対する割合が1.50%（本第三者割当前の総議決権数30,024個に占める割合は1.50%）となります。この点につきましては、上記「4. 資金使途の合理性に関する考え方」に記載いたしましたとおり、当社の将来における新規事業の拡大により、企業価値を向上することができ、既存株主の皆様の利益拡大につながるものと判断しております。

このような観点から、本第三者割当に係る株式の発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

（1）割当予定先の概要

① 越智晶

（1）氏名	越智晶
（2）所在地	東京都港区
（3）職業の内容	会社役員
（4）上場会社と当該個人の関係	
資本関係	当社の筆頭株主であります。
人的関係	当社代表取締役社長であります。
取引関係	該当事項はありません。
関連当事者への該当状況	関連当事者にあたりません。

② 越智源株式会社

（1）名称	越智源株式会社
（2）所在地	愛媛県今治市南日吉町一丁目2番14号
（3）代表者の役職・氏名	越智 裕
（4）事業内容	染色加工業
（5）資本金	15,000千円
（6）設立年月日	1963年4月

(7) 発行済株式数	3万株		
(8) 決算期	3月期		
(9) 従業員数	45名		
(10) 主要取引先	楠橋紋織株式会社、七福タオル株式会社、今井タオル株式会社		
(11) 主要取引銀行	株式会社伊予銀行、株式会社中国銀行、株式会社商工組合中央金庫		
(12) 大株主及び持株比率	越智 裕 75.3% 越智 董子 15.3%		
(13) 当事会社間の関係			
資本関係	既存株主であります。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	該当事項はありません。（直近事業年度には取引関係はありませんが、2019年2月から業務委託契約を締結しております。）		
関連当事者への該当状況	関連当事者にあたりません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：千円）			
決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
純資産	△10,350	15,202	15,665
総資産	893,558	978,146	1,065,201
1株当たり純資産（円）	△345	506.73	522.17
売上高	1,024,165	1,051,928	974,116
営業利益	45,894	53,665	△12,410
経常利益	3,881	34,623	△55,719
当期純利益	2,968	25,552	463
1株当たり当期純利益（円）	98.93	851.73	15.43
1株当たり配当金（円）	0	0	0

(注) 割当予定先の概要については、2019年3月7日現在におけるものであります。

(2) 割当予定先を選定した理由

① 越智晶氏について

上記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、当社は、今回の資金調達の方法として、第三者割当が最適であると考えております。今回の第三者割当は、当社の将来における更なる事業の拡大・発展のための研究開発費を調達することを目的としており、代表取締役社長として当社の経営の責任を負う越智晶氏に割り当てることにより、当該研究開発における経営責任が明確となります。また、代表取締役社長が自らの資金で当社普通株式を取得することにより、株主の皆様との価値共有が一層促されることから、越智晶氏を割当予定先として選定いたしました。

越智晶氏は、当社の代表取締役社長であることから、同氏が反社会的勢力との関係を有しないことについては、日頃から確認しておりますが、本第三者割当にあたり、担当役員が改めてヒアリングを実施しました。その結果、反社会的勢力等との関わりを疑わせるものが全く無かったため、当社としては、現時点において、越智晶氏が、暴力若しくは威力を用い、または詐

欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体と一切関係がないと判断し、反社会的勢力と関わりがないことの確認書を東京証券取引所に提出しております。

② 越智源株式会社

上記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、当社は、今回の資金調達の方法として、第三者割当が最適であると考えております。本第三者割当にあたり、越智晶氏とともに株式を割り当てる予定先として、当社グループの経営環境、経営方針及び本第三者割当の目的等をご理解いただける割当予定先を検討いたしました。越智源株式会社は、当社代表取締役社長である越智晶氏の兄が保有・運営する事業会社であり、当社の大株主であることから、当社は、本第三者割当に当たり同社と協議を行ったところ、上記の当社グループの経営環境、経営方針及び本第三者割当の目的等についてご賛同いただき、本第三者割当の条件等についてご同意いただけたことから割当予定先として選定いたしました。

本第三者割当に当たり、当社の役員が割当予定先と直接、面談・ヒアリングを実施し、また、インターネット検索サイトを利用したキーワード検索等により、反社会的勢力との関係の有無について調査いたしました。その結果、越智源株式会社及び同社の役員又は株主について反社会的勢力等との関わりを疑わせるものが全く無かったため、当社は、越智源株式会社について、暴力若しくは威力を用い、または詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体と一切関係がないと判断し、反社会的勢力と関わりがないことの確認書を東京証券取引所に提出しております。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、各割当予定先が当社の安定株主として割当てを受ける株式を中長期にわたり保有する意向であることを確認しております。

なお、当社は、各割当予定先から、払込期日より2年以内に当該株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちにその内容を当社に書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意する旨の確約書を取得する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、各割当予定先より、預金通帳の写しを受領して、本第三者割当に必要な自己資金を十分に有していることを確認し、払込みに要する財産の存在について問題ないと判断しました。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（2018年12月31日現在）		募集後	
越智晶	8.30%	越智晶	9.16%
住友商事株式会社	7.94%	住友商事株式会社	7.82%
住江織物株式会社	6.99%	住江織物株式会社	6.89%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	6.82%	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	6.71%
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口）	4.13%	日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口）	4.07%
越智敏裕	4.03%	越智敏裕	3.97%
越智源株式会社	2.66%	越智源株式会社	3.11%
BBH (LUX) FORMIBLFOR MUGF JAPAN EQUITY SMALL CAP FUND （常任代理人 株式会社三菱 UFJ銀行）	1.26%	BBH (LUX) FORMIBLFOR MUGF JAPAN EQUITY SMALL CAP FUND （常任代理人 株式会社三菱 UFJ銀行）	1.24%
徳山教助	1.25%	徳山教助	1.24%
株式会社SBI証券	1.09%	株式会社SBI証券	1.08%

（注） 1. 2018年12月31日現在の株主名簿を基準としております。

2. 持株比率は、発行済株式総数に対する所有株式数の割合を記載しております。

3. 小数点第3位以下を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当が当社の業績に与える影響は軽微であります。

9. 企業行動規範上の手続

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

（1）最近3年間の業績（連結）

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期
売上高（千円）	2,120,959	2,294,698	2,410,719
営業利益（千円）	267,081	280,308	11,945
経常利益（千円）	247,047	264,193	△15,878
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	164,777	315,854	57,174
1株当たり当期純利益（円）	63.95	107.56	19.05
1株当たり配当金（円）	0	0	0
1株当たり純資産（円）	112.16	272.25	292.42

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(2018年12月31日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	3,004,950株	100.00%
現時点の転換価格(行使価額)における潜在株式数	212,100株	7.1%
下限値の転換価格(行使価格)における潜在株式数	—	—
上限値の転換価格(行使価格)における潜在株式数	—	—

(注) 上記潜在株式数は、新株予約権(ストックオプション)に係る潜在株式数であり、これら新株予約権がすべて権利行使された場合に発行される株式数です。

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期
始値	—円	2,770円	3,010円
高値	—円	9,140円 □3,920円	3,640円
安値	—円	1,782円 □2,700円	2,342円
終値	—円	2,999円	2,844円

(注) 1. 2016年7月28日をもって東京証券取引所マザーズに株式を上場いたしましたので、それ以前の株価については、該当事項はありません。

2. □印は、株式分割(2017年4月1日、1株→2株)による権利落後の最高・最低株価を示しております。

②最近6か月間の状況

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
始値	1,645円	1,531円	1,206円	1,170円	806円	1,330円
高値	1,668円	1,615円	1,328円	1,239円	1,929円	1,515円
安値	1,452円	1,112円	1,003円	682円	777円	1,200円
終値	1,513円	1,224円	1,170円	821円	1,302円	1,387円

③発行決議日の前営業日における株価

	2019年3月6日
始値	1,390円
高値	1,406円
安値	1,343円
終値	1,371円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

払込期日	2018年7月27日
調達資金の額	114,750,000円
発行価額	1株につき1,275円
募集時における発行済株式数	1,288,310株
当該募集による発行株式数	90,000株
募集後における発行済株式総数	1,378,310株
発行時における当初の資金使途	設備投資
発行時における支出予定時期	2017年6月期
現時点における充当状況	全額充当済

・第三者割当増資（上記公募増資に係るグリーンシュエアオプションの行使分）

払込期日	2016年8月30日
調達資金の額（割当価格） （払込金額）	38,630,800円 31,492,500円
割当価格 （発行価額）	1株につき1,564円 1株につき1,275円
募集時における発行済株式数	1,458,310株
当該募集による発行株式数	24,700株
募集後における発行済株式総数	1,483,010株
割当先	大和証券株式会社
発行時における当初の資金使途	設備投資
発行時における支出予定時期	2017年6月期
現時点における充当状況	全額充当済

11. 発行要項

(1) 募集株式発行の種類

普通株式 45,000株

(2) 払込金額

1株につき 1,371円 （総額61,695,000円）

(3) 増加する資本金及び資本準備金の額

資本金 1株につき 685.5円 （総額30,847,500円）

資本準備金 1株につき 685.5円 （総額30,847,500円）

(4) 募集方法

第三者割当の方法

(5) 割当予定先及び割当予定株式数

越智晶	当社普通株式30,000株
越智源株式会社	当社普通株式15,000株

(6) 申込期日

2019年3月29日

(7) 払込期日

2019年3月29日

(8) その他

本株式の発行については、各種法令に基づき必要な手続が完了していることを条件とする。

以 上